

2017年1月10日

IFTA / NTAA CFTe[®] 各位

IFTA MFTA[®]のご案内

NTAA 事務局

テクニカルアナリスト第2次資格(CFTe[®])の保有者は、テクニカルアナリスト資格の最高峰である国際テクニカルアナリスト連盟 Master of Financial Technical Analysis(MFTA[®])へ応募することができます。現在、MFTA[®]資格保有者は全世界に100名強ですが、その約半数はNTAA会員です。NTAAは世界でも会員数の多い協会ですが、その中でMFTA[®]資格保有率も高い割合を誇っています。

MFTAを取得するためには、IFTAの評価委員会へ指定の書式に従った3,000～5,000ワード(日本語換算で6,000～10,000字程度)の研究論文を提出する必要があります。チャートや図、表を追加しても構いませんが、図表が全体の大半を占めることの無いようにしなければなりません。

論文のテーマや検証方法は応募者各人の自由ですが、いくつかの基準を満たしている必要があります。また、論文の構成や書式は「MFTA / IFTA Journal Style Guide」に従って書いていただきます。

IFTAへ提出する論文の言語は英語です。英語で論文を書ける方は英語で提出していただきますが、英語で論文を書く自信のない方は日本語で論文を書き、NTAAが翻訳業者に取り次いで英語の論文に仕上げるといった方法もあります(審査料の他に別途翻訳料がかかります)。

MFTA応募者は高い教育を受けていることが想定されており、論文の審査基準も“Master(大学院の修士)”に相応しいレベルが要求されます。合格するとIFTA委員会から英語の合格証が贈られ、さらに評価委員会が特に優秀と認めた場合には“最優秀論文賞”が授与されます。また、翌年のNTAAテクニカルアナリストジャーナルに、合格論文が掲載されます(英文で応募された方は日本語論文を作成していただきます)。皆様がこれまで蓄積、実証したデータを利用してMFTA[®]にチャレンジしてみたいかどうか?

次頁以降の応募要項ならびに留意事項を熟読の上、日本テクニカルアナリスト協会(NTAA)事務局宛にお申込みください。

以上

応募要項

(1) 応募形式

研究論文の提出

(2) 研究論文の基準

研究論文の内容は以下の基準を満たしていること。

- ・提出者が全ての権利を有する独自の論文であること。
- ・試験、研究、分析に裏付けられた、論理的で筋の通った議論を展開し、妥当な結論を導いている論文であること。
- ・テーマが実用的であること。
- ・国際的なテクニカル分析教育の知識体系に付加する価値がある独創性あるいは新規性のある論文であること。
- ・論文の体裁が「MFTA / IFTA Journal Style Guide」(http://www.ifta.org/public/files/publication-downloads/MFTA_Thesis_IFTA_Journal_Guide.pdf)に従っていること。

※ 以前は、市場が異なる2つ以上の投資対象で検証することが条件となっていました。その条件は削除されました。しかし、従来通り、株式、債券、商品先物、為替、オプションなど特性の異なる2つ以上の投資対象で検証するか、同一の商品ジャンルであれば国内と海外の複数の市場における異なる2つ以上の銘柄で検証することを推奨します。

(3) 期限と日程

NTAA 事務局は、応募者全員分のファイルをまとめて IFTA へ送付します。そのため、以下の締切日は IFTA が指定する期日より前に設定されていますのでご承知おきください。

① 概要の提出(第1期:4月25日、第2期:9月25日、休日の場合は直前営業日)

- ・日本語で提出して英語翻訳する場合は、第1期は3月31日、第2期は8月31日が締め切りとなります。英訳料は、別途実費をご請求させていただきますので、遅滞なくご精算ください。
- ・概要は MS Word で作成し、Eメールに添付して提出してください。
- ・期日までに概算審査料(12万円)を払い込んでください。
- ・概要は「MFTA / IFTA Journal Style Guide」の Abstract に準拠して作成してください。
- ・概要は図表を含まず、100~300ワード(日本語換算 200~600字前後)です。
- ・概要の提出または審査料等のお振り込みが遅延した場合は、次期の応募として扱います。

② 概要の評価(第1期:6月上旬、第2期:11月上旬)

- ・概要の審査結果が通知されますので、それに基づいて論文を執筆してください。
- ・基準を満たしていないと判定された場合には、論文作成にあたり考慮すべき助言、注意事項、条件等が付されますので、指摘事項をすべて反映した論文を執筆してください。
- ・概要提出後に、論文テーマや論旨を変更することはできません。

- ③ 論文の提出(第1期:10月6日、第2期:3月8日、休日の場合は直前営業日)
- ・日本語で提出して英語翻訳する場合は、第1期は9月15日、第2期は2月13日が締め切りとなります。実費英訳料のお支払い確認後、翻訳の発注となりますのでご注意ください。
 - ・論文はMS Wordで作成し、Eメールに添付して提出してください。
 - ・論文の構成および書式は「MFTA / IFTA Journal Style Guide」に準拠してください。
 - ・論文は、図表を別として3,000~5,000ワード(日本語換算6,000~10,000字前後)です。
 - ・論文の提出または翻訳料の振り込みが遅延した場合は、次期の新規応募として扱われます。改めて審査料が必要となりますのでご注意ください。

- ④ 論文の評価(第1期:翌年4月頃、第2期:同年9月頃)
- ・評価委員会より結果が通知されます。
 - ・合格者にはMFTA[®](Master of Financial Technical Analysis)の称号が付与され、後日、IFTAより英文の合格証が贈られます。

(4) 論文の取扱い

① 不合格論文の取扱い

- ・不合格者は、評価委員会の指摘事項を修正して同一テーマの論文を翌年再提出することができます。
- ・採点結果に不服がある場合は、採点の見直しを求めることができますが、見直しには数カ月かかり、見直し費用もかかります。さらに、判定が覆らなかった場合には、翌年に別の論文を提出することができないことに注意してください。

② 合格論文の取扱い

- ・執筆者は、研究論文を全世界で最初に出版する権利を排他的にIFTAへ付与し、さらに、権利期間内におけるその他の用途について全世界、全媒体、全言語での非排他的使用権をIFTAへ付与するものとします。
- ・論文は、IFTA Journal および IFTA ウェブサイトに掲載される場合があります。
- ・その場合、「Copyright [執筆者名] 論文の読者が著作権者に無断で複製する場合は、教育もしくは非営利目的に限る。」との注記がなされます。

(5) 著作権について

- ・研究論文の著作権は、執筆者に帰属します。
- ・執筆者は、IFTA に対して論文が執筆者のオリジナルであり唯一の執筆者であること、契約締結に関するすべての権限を有することを保証していただきます。論文に関して疑義の申し立てがあった場合、最終判定が確定した後、IFTA が負担した弁護士費用を含むすべての費用もしくは損失を執筆者が補償するものとします。
- ・応募論文には、サインした出版契約書のコピーを添付してください。

- ・提出された論文は IFTA ウェブサイトに掲載される場合があります。ウェブサイト上の著作物の権利の取扱いはクリエイティブ・コモン・ライセンス 3.0 に従い、カテゴリーは「表示－非営利 (BY-NC)」となります。執筆者は、論文がこの許諾条件に従っていることを論文中に明記してください。もし、執筆者が「表示－非営利－継承 (BY-NC-SA)」、「表示－非営利－改変禁止 (BY-NC-ND)」など別の許諾条件を選択する場合は、論文提出時に明示してください。クリエイティブ・コモン・ライセンスについては「<http://creativecommons.jp/licenses/#licenses>」を参照してください。

以上

2017 年度の MFTA スケジュール

	第 1 期		第 2 期	
	英語で提出	日本語で提出	英語で提出	日本語で提出
応募〆切	3 月 15 日 (水)		8 月 15 日 (火)	
概要の提出期限 (文字数)	4 月 25 日 (火) (100～300 ワード)	3 月 31 日 (金) (200～600 字)	9 月 25 日 (月) (100～300 ワード)	8 月 31 日 (木) (200～600 字)
概要の評価	6 月上旬		11 月上旬	
論文の提出期限 (文字数)	10 月 6 日 (金) (3,000～5,000 ワード)	9 月 15 日 (金) (6,000～10,000 字)	2018 年 3 月 8 日 (木) (3,000～5,000 ワード)	2018 年 2 月 13 日 (火) (6,000～10,000 字)
合否判定	2017 年 4 月頃		2017 年 9 月頃	

※ 受験申込書、論文の提出先は全て NTAA 事務局となります。NTAA 事務局は、応募者全員分のファイルをまとめて IFTA へ送付します。そのため、上記締切日は IFTA が指定する締切日より前に設定されています。

お申込みの手順

(1) 応募の意思表示

- ・最終ページの応募申込書を応募締め切りまでに E メールで送付してください。
Eメールの宛先: office@ntaa.or.jp

(2) 審査料および翻訳料の払い込み

① 審査料

- ・IFTA が設定する審査料は 950 米ドルですが、為替レートは変動しますので、最初に 日本円で 12 万円を振込んでください。米ドルでのお支払いはできません。
- ・論文概要の提出日における TTS レートで換算した金額との差額が出た場合には、応募者に連絡の上、不足の場合には再度ご請求、剰余となった場合にはご返金をいたします。

② お振込期限

- ・第 1 期: 英文提出者ー 4 月 25 日 (火)、日本文提出者ー 3 月 31 日 (金)
- ・第 2 期: 英文提出者ー 9 月 25 日 (月)、日本文提出者ー 8 月 31 日 (木)

③ お振込先

- ・銀行口座名 三菱東京 UFJ 銀行 日本橋支店 普通預金 2017789
- ・名義 特定非営利活動法人 日本テクニカルアナリスト協会
- ・カナ名義 トクヒニホンテクニカルアナリストキョウカイ
- ・振込手数料は受験者負担でお願いします。

④ 翻訳料(日本文提出者のみ)

- ・翻訳料は、当協会が委託した翻訳者が請求する翻訳料の実費を申し受けます。
- ・翻訳料は、提出された日本文を元に翻訳者へ見積もりを取り、応募者に連絡しますので、遅滞なくお支払いください。また、図表の翻訳や文章の変更などによって、翻訳の請求額が見積額を超過した場合には、後日速やかにご精算ください。
- ・原則として、翻訳料のお振込の確認が取れてから翻訳の発注をいたします。お振込が遅延すると翻訳の発注が遅れ、その結果、英文の納品が IFTA への提出期限に間に合わなくなる恐れがあります。その場合の責は応募者にあり、当協会および翻訳者は負いません。

(3) 概要および論文の提出

- ・論文概要および研究論文は、NTAA が定める期日までに E メールで提出してください。
Eメールの宛先: office@ntaa.or.jp

(4) 応募の取り消し

- ・論文概要の提出後は、受験料の返却はできません。
- ・翻訳料など受験料以外の費用が発生している場合は、当該費用もご負担いただきます。

以上

申込日 年 月 日

日本テクニカルアナリスト協会 行

IFTA MFTA[®] 応募申込書

私は IFTA MFTA[®] に応募します。

応募期	第 1 期 ・ 第 2 期
使用言語	日 本 語 ・ 英 語
論文タイトル(仮題可)	
お名前	
英文表記	
会員番号	

【申込締切日】 第 1 期 : 3 月 15 日(水)、第 2 期 : 8 月 15 日(火)

※本申込書は、電子メールでご提出ください。(提出先:office@ntaa.or.jp)

【個人情報の取り扱いについて】

- ◆本申込書により取得した個人情報は、当協会の業務の運営上必要な書類ならびに書籍等の送付、および各種連絡の目的で利用いたします。
- ◆本申込によって取得した個人情報については、個人情報保護法に定める場合を除き、ご本人の同意なく、利用目的以外の利用および第三者への提供はいたしません。